

<報道発表資料>

カテゴリー: イベント

令和7年9月12日

さいたま文学館 企画展

はまり か え つか

「歌人・濱梨花枝ー幻の墳のほとりでー」の開催について

さいたま文学館では、企画展「歌人・濱梨花枝ー幻の墳のほとりでー」を開催します。

● 企画展の概要

1 趣旨

埼玉県を代表する歌人の一人である濱梨花枝は、北埼玉郡埼玉村（現・行田市）の名家に生まれ、19歳で久喜町（現・久喜市）にある旧家に嫁ぎました。旧家の嫁としての重圧からの救いを求めた濱は、与謝野晶子に入門し、短歌を始めます。54歳の時に歌誌『青遠』を創刊すると、青遠短歌会の主宰として30年以上にわたり多くの後進を育成しました。

この企画展では、歌稿や創作ノートなどの直筆資料や、雑誌（歌集未収録の短歌を掲載）などの貴重な資料を通して、家の問題を抱えながらも、短歌と向き合い続けた濱の業績を紹介します。

2 会期

令和7年10月11日（土曜日）から12月7日（日曜日）まで

休館日：月曜日（休日の場合は開館し、翌日休館）・10月28日（火曜日）

3 会場

さいたま文学館 企画展示室

所在地：桶川市若宮1-5-9

交通：JR 高崎線桶川駅西口から徒歩約 5 分

4 開館時間

午前 10 時から午後 5 時 30 分まで（観覧受付は午後 5 時まで）

5 観覧料

一般 210 円 高校生・学生 100 円

（中学生以下・障害者手帳等をお持ちの方とその介助の方 1 名は無料）

6 展示構成

プロローグ 万葉歌碑のある家に生まれて

名家に生まれた濱の幼少期や、母の方針で入学した学校生活の様子などを紹介します

第 1 章 歌人としての出発

第 1 歌集『風紋』（1960）を出版するまでの初期の作品を紹介します

第 2 章 『青遠』創刊

54 歳で創刊した歌誌『青遠』や、主宰した青遠短歌会の活動などを紹介します

第 3 章 活動の広がり

新久喜音頭の作詞や『文芸埼玉』編集委員、県立久喜図書館協議会委員など、埼玉県
の文化行政に尽力した濱の幅広い活動を紹介します

第 4 章 「東方の歌碑」建立

昭和 58 年（1983）に故郷・行田市の県立さきたま古墳公園に濱の短歌が刻まれた歌
碑が建立されます。その短歌を揮毫^{きごう}した書や、故郷を詠んだ短歌などを紹介します

エピローグ 幻の墳のほとりで

濱が 82 歳になってから刊行が始まった第 2 歌集『青遠』上・中・下などを紹介し、
晩年の濱の歌業を振り返ります

コラムコーナー 埼玉を歌う

濱が詠んだ埼玉に関する短歌を、直筆原稿などで紹介します

7 関連事業

(1) 上映&トークイベント

日時：令和7年10月18日（土曜日）午後2時～3時30分

会場：久喜総合文化会館 小ホール（久喜市下早見140）

内容：上映「わたしの生き方ー埼玉の女性ー」（約20分）

トーク「家族から見た濱梨花枝」（約60分）

定員：300名（電話受付・先着順）

出演：榎本道子氏（濱梨花枝長男の妻）、榎本恭子氏（濱梨花枝次男の妻）

進行：堀内謙一氏（認証アーキビスト）

後援／久喜市教育委員会

(2) 文学散歩「濱梨花枝の歌と古墳をめぐる」

日時：令和7年10月25日（土曜日）午後1時45分～3時30分

会場：さきたま古墳公園（行田市埼玉4834）

定員：30名（往復はがきによる抽選・10月15日（水曜日）必着）

案内：文学館職員、県立さきたま史跡の博物館学芸員

協力／埼玉県立さきたま史跡の博物館

(3) 講演会「知られざる濱梨花枝の素顔」

日時：令和7年11月15日（土曜日）午後2時00分～3時30分

会場：さいたま文学館 文学ホール

内容：歌の師である濱梨花枝との思い出や、『青遠』などについてご講演いただきます。

定員：200名（電話受付・先着順）

講師：飛高敬氏（日本歌人クラブ名誉会員、埼玉歌壇元選者、『青遠』編集委員、
『曠野』主宰）

(4) 申込方法

ア 関連事業(1)及び(3)はさいたま文学館までお電話（048-789-1515）にて申込受付（先着順）。

イ 関連事業(2)は10月15日(水曜日)必着で、往復はがきにて申込(応募者多数の場合は抽選)。往復はがきの〔往信ウラ〕に①氏名(ふりがな)・②住所・③電話番号を、〔返信オモテ〕にご自身の住所・氏名を明記の上、〒363-0022 桶川市若宮1-5-9 さいたま文学館 企画展文学散歩係宛にお送りください。

(1通につき1名まで)

※関連事業は参加費無料です。

8 問合せ先

教育局文化財・博物館課文学担当(さいたま文学館駐在) 安達

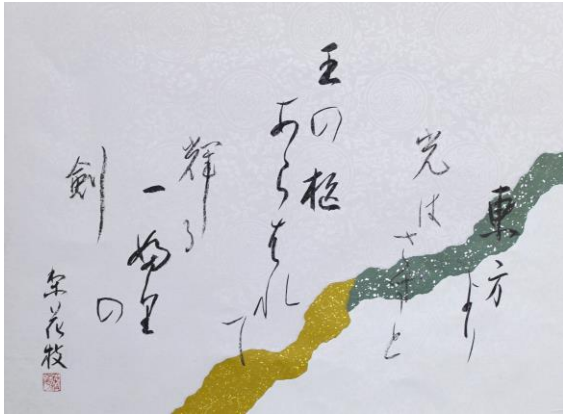
〒363-0022 桶川市若宮1-5-9

電話 048-789-1515 F A X 048-789-1517

ホームページ <https://www.saitama-bungaku.jp/>

E-mail info.saitama-bungaku@kpb.co.jp

【主な展示資料】



濱梨花枝直筆の書「東方より光はさすと王の柩あらはれて輝る一ふりの剣」 埼玉県立さきたま史跡の博物館蔵



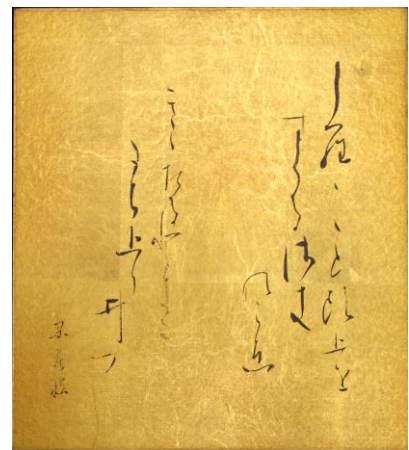
歌誌『青遠』（創刊号、11号は土門拳撮影） 当館蔵



青遠短歌会看板 個人蔵



自筆色紙 当館蔵
「柔軟に粘りある波の繰り返しめぐらせていぬ永遠の今」



自筆色紙 当館蔵
「しらゝと頭上をすぐるさぎのこゑきゝたるときにたち上りいつ」